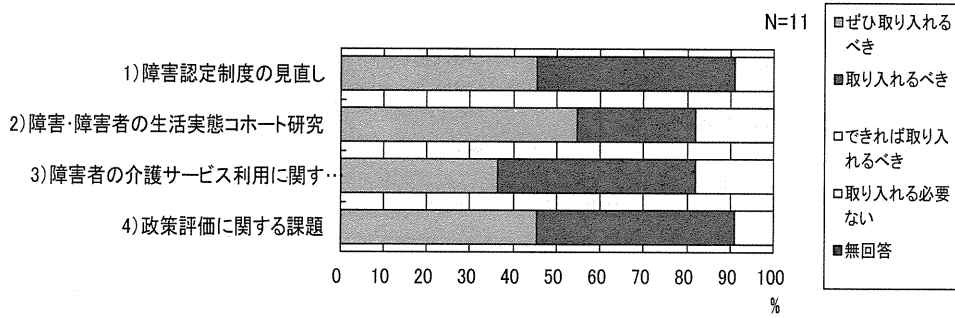


D-3 今後数年間に取り上げるべき福祉行政に関する課題（国リハ所属者）

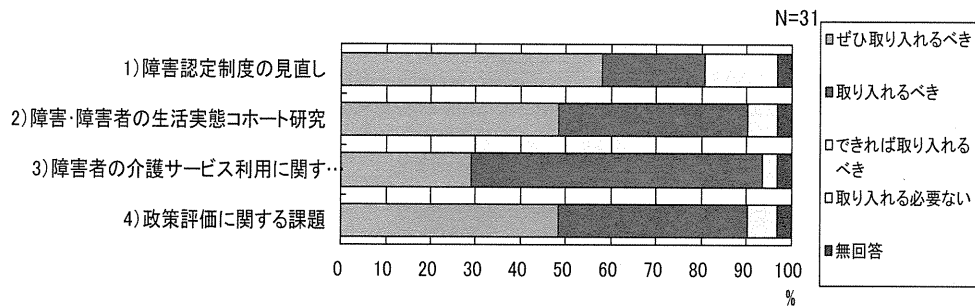
	ぜひ取り上げるべき	取り上げるべき	できれば取り上げるべき	取り上げる必要ない	無回答	合計
1) 障害認定制度の見直し	5	5	1	0	0	11
2) 障害・障害者の生活実態コホート研究	6	3	2	0	0	11
3) 障害者の介護サービス利用に関する問題	4	5	2	0	0	11
4) 政策評価に関する課題	5	5	1	0	0	11



D-4 今後数年間に取り上げるべき福祉行政に関する課題（国リハ所属でない者）

N=31

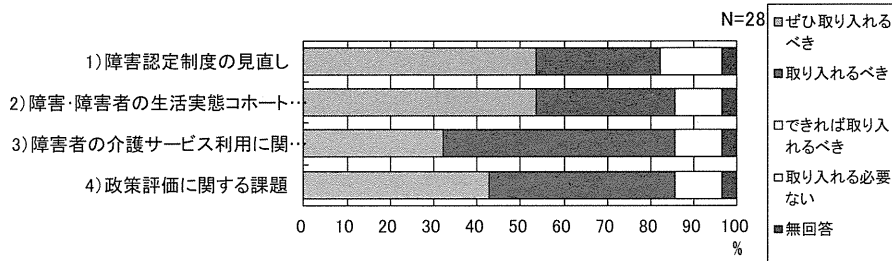
	ぜひ取り上げるべき	取り上げるべき	できれば取り上げるべき	取り上げる必要ない	無回答	合計
1) 障害認定制度の見直し	18	7	5	0	1	31
2) 障害・障害者の生活実態コホート研究	15	13	2	0	1	31
3) 障害者の介護サービス利用に関する問題	9	20	1	0	1	31
4) 政策評価に関する課題	15	13	2	0	1	31



D-5 今後数年間に取り上げるべき福祉行政に関する課題（医療専門家）

N=28

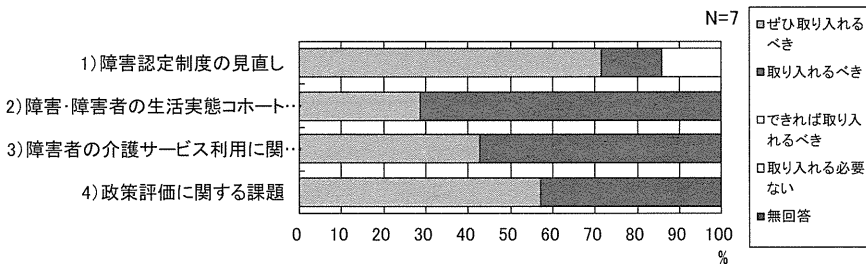
	ぜひ取り上げるべき	取り上げるべき	できれば取り上げるべき	取り上げる必要ない	無回答	合計
1) 障害認定制度の見直し	15	8	4	0	1	28
2) 障害・障害者の生活実態コホート研究	15	9	3	0	1	28
3) 障害者の介護サービス利用に関する問題	9	15	3	0	1	28
4) 政策評価に関する課題	12	12	3	0	1	28



D-6 今後数年間に取り上げるべき福祉行政に関する課題（福祉専門家）

N=7

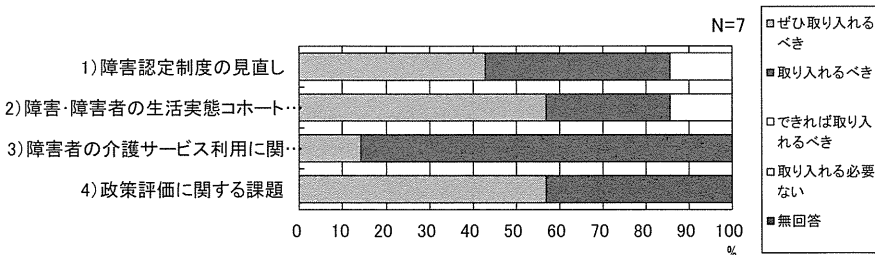
	ぜひ取り上げるべき	取り上げるべき	できれば取り上げるべき	取り上げる必要ない	無回答	合計
1) 障害認定制度の見直し	5	1	1	0	0	7
2) 障害・障害者の生活実態コホート研究	2	5	0	0	0	7
3) 障害者の介護サービス利用に関する問題	3	4	0	0	0	7
4) 政策評価に関する課題	4	3	0	0	0	7



D-7 今後数年間に取り上げるべき福祉行政に関する課題（工学専門家）

N=7

	ぜひ取り上げるべき	取り上げるべき	できれば取り上げるべき	取り上げる必要ない	無回答	合計
1) 障害認定制度の見直し	4	3	0	0	0	7
2) 障害・障害者の生活実態コホート研究	1	6	0	0	0	7
3) 障害者の介護サービス利用に関する問題	4	2	1	0	0	7
4) 政策評価に関する課題	3	3	1	0	0	7



I. 障害関係分野全般の研究課題

表1 専門家調査における配布者の分野分布と配布回収数

分野	分野詳細	配布数	回収数
医師	精神科	7	4
	小児、児童精神	7	4
	リハビリテーション医学	5	4
	眼科	4	3
	耳鼻科	4	3
	整形外科	3	1
	神経内科	3	3
	循環器内科	2	2
	コメディカル	看護、言語療法、作業療法	4
福祉	行政、マスコミを含む	12	7
工学		10	7
合計		61	42

表2 今後数年間に取り上げるべき医療の課題

項目	専門家平均 得点 (N=42)	当事者平均 得点 (N=6)	医療 (N=28)	福祉 (N=7)	工学 (N=7)	国リハとの 関係あり (N=11)	国リハとの 関係なし (N=31)
3) 障害評価、障害化モデル構築	3.61	2.50	3.70	3.43	3.43	3.82	3.53
4) 機能回復、見直し、新治療法開発	3.52	3.00	3.68	3.43	3.00	3.27	3.61
7) 機能代償、代替手法見直し、新手法開発	3.46	3.17	3.43	3.67	3.43	3.45	3.47
8) 治療機器開発	3.40	3.50	3.43	3.29	3.43	3.27	3.45
5) 高齢化に伴う健康問題	3.33	3.50	3.32	3.57	3.14	3.36	3.32
6) 日常生活	3.19	3.17	3.14	3.29	3.29	3.18	3.19
1) 障害関連疾患	3.14	3.00	3.14	3.29	3.00	2.91	3.23
2) 疾患治療法開発	3.10	3.33	3.18	3.29	2.57	2.55	3.29
平均値	3.35	3.15	3.38	3.40	3.16	3.23	3.39

表3 今後数年間に取り上げるべき福祉領域の課題

項目	専門家平均 得点 (N=42)	当事者平均 得点 (N=6)	医療 (N=28)	福祉 (N=7)	工学 (N=7)	国リハとの 関係あり (N=11)	国リハとの 関係なし (N=31)
4) 社会生活支援・QOL向上	3.48	3.50	3.43	3.57	3.57	3.45	3.48
1) 日常生活自立支援	3.43	3.50	3.43	3.57	3.29	3.73	3.32
6) 福祉機器開発、利活用	3.40	3.67	3.29	3.57	3.71	3.73	3.29
3) 生活能力開発支援	3.33	3.83	3.39	3.57	2.86	3.27	3.35
2) 社会生活技能習得支援	3.19	3.33	3.14	3.43	3.14	3.36	3.13
5) 参加制約評価・ニーズ調査、判定	3.14	3.33	3.00	3.43	3.43	3.18	3.13
平均値	3.33	3.53	3.28	3.52	3.33	3.45	3.28

表4 今後数年間に取り上げるべき医療福祉の連携課題

項目	専門家平均 得点 (N=42)	当事者平均 得点 (N=6)	医療 (N=28)	福祉 (N=7)	工学 (N=7)	国リハとの 関係あり (N=11)	国リハとの 関係なし (N=31)
2) 医療と福祉の連携体制構築	3.49	3.17	3.52	3.57	3.29	3.64	3.43
1) 共通言語構築	3.07	2.50	3.07	3.57	2.57	3.09	3.07
平均値	3.28	2.84	3.30	3.57	2.93	3.36	3.25

表5 今後数年間に取り上げるべき福祉行政に関する課題

項目	専門家平均 得点 (N=42)	当事者平均 得点 (N=6)	医療 (N=28)	福祉 (N=7)	工学 (N=7)	国リハとの 関係あり (N=11)	国リハとの 関係なし (N=31)
1) 障害認定制度の見直し	3.41	3.67	3.41	3.57	3.29	3.36	3.43
2) 障害・障害者の生活実態コホート研究	3.41	3.00	3.44	3.29	3.43	3.36	3.43
4) 政策評価に関する課題	3.41	2.67	3.33	3.57	3.57	3.36	3.43
3) 障害者の介護サービス利用に関する問題	3.24	3.17	3.22	3.43	3.14	3.18	3.27
平均値	3.37	3.13	3.35	3.46	3.36	3.32	3.39

表6 これから数年間に重点的に取り組むべき分野

研究分野	全体	医療	福祉	工学	国リハとの関係あり	国リハとの関係なし
	(N=42)	(N=28)	(N=7)	(N=7)	(N=11)	(N=31)
3)医療福祉連携領域	15 (35.7)	10 (35.7)	3 (42.9)	2 (28.6)	3 (27.3)	12 (38.7)
1)医学領域	9 (21.4)	9 (32.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (9.1)	8 (25.8)
2)障害福祉領域	7 (16.7)	5 (17.9)	1 (14.3)	1 (14.3)	3 (27.3)	4 (12.9)
5)政策研究	7 (16.7)	2 (7.1)	3 (42.9)	2 (28.6)	3 (27.3)	4 (12.9)
7)領域はない	2 (4.8)	1 (3.6)	0 (0.0)	1 (14.3)	1 (9.1)	1 (3.2)
4)社会学・疫学	1 (2.4)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (14.3)	0 (0.0)	1 (3.2)
6)その他	1 (2.4)	1 (3.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (3.2)
合計	42 (100.0)	28 (100.0)	7 (100.0)	7 (100.0)	11 (100.0)	31 (100.0)

その他の内容

・少子・高齢化社会における障害者対策の在り方について

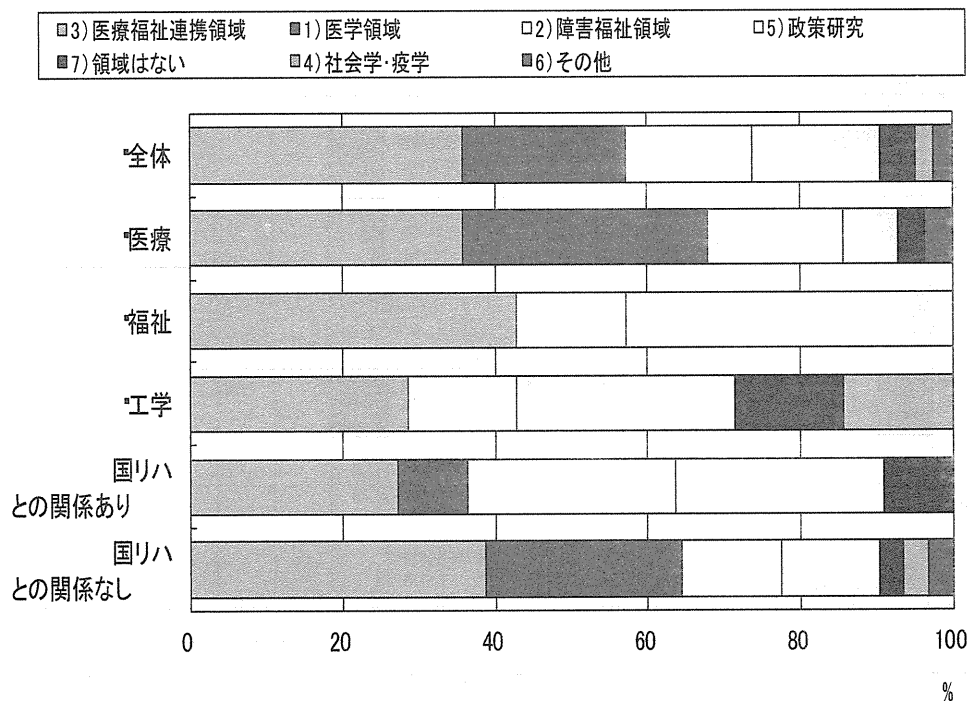


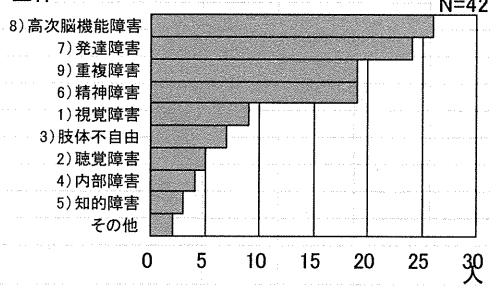
表7 重点的に取り組むべき障害種別（複数回答3件まで）

障害種別	全体 (N=42)	医療 (N=28)	福祉 (N=7)	工学 (N=7)	国リハとの 関係あり (N=11)	国リハとの 関係なし (N=31)
8) 高次脳機能障害	26 (61.9)	17 (60.7)	5 (71.4)	4 (57.1)	6 (54.5)	20 (64.5)
7) 発達障害	24 (57.1)	17 (60.7)	3 (42.9)	4 (57.1)	7 (63.6)	17 (54.8)
6) 精神障害	19 (45.2)	13 (46.4)	5 (71.4)	1 (14.3)	5 (45.5)	14 (45.2)
9) 重複障害	19 (45.2)	10 (35.7)	4 (57.1)	5 (71.4)	5 (45.5)	14 (45.2)
1) 視覚障害	9 (21.4)	5 (17.9)	1 (14.3)	3 (42.9)	3 (27.3)	6 (19.4)
3) 肢体不自由	7 (16.7)	4 (14.3)	0 (0.0)	3 (42.9)	3 (27.3)	4 (12.9)
2) 聴覚障害	5 (11.9)	5 (17.9)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (9.1)	4 (12.9)
4) 内部障害	4 (9.5)	3 (10.7)	1 (14.3)	0 (0.0)	1 (9.1)	3 (9.7)
5) 知的障害	3 (7.1)	2 (7.1)	1 (14.3)	0 (0.0)	1 (9.1)	2 (6.5)
その他	2 (4.8)	1 (3.6)	0 (0.0)	1 (14.3)	1 (9.1)	1 (3.2)
無回答	6 (14.3)	6 (21.4)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	6 (19.4)
合計	124 (295.2)	83 (296.4)	20 (285.7)	21 (300.0)	33 (300.0)	91 (293.5)

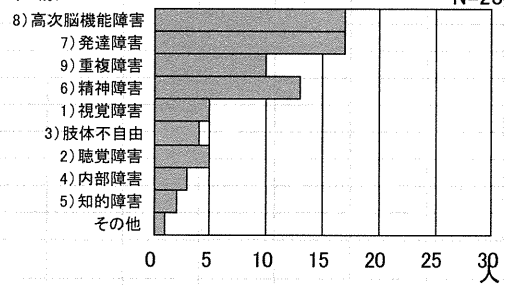
その他の内容

- ・高齢者における独立歩行
- ・高齢障害者
- ・（その他の項目にチェックあるが、内容記述なし1件）

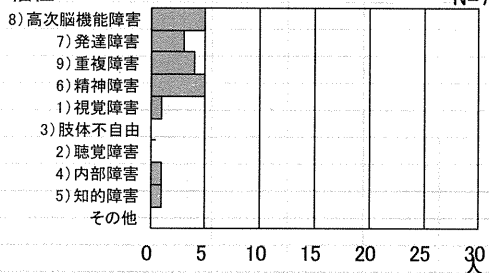
全体



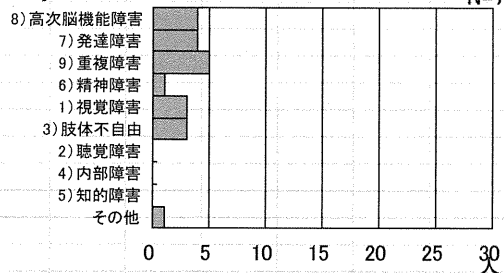
医療



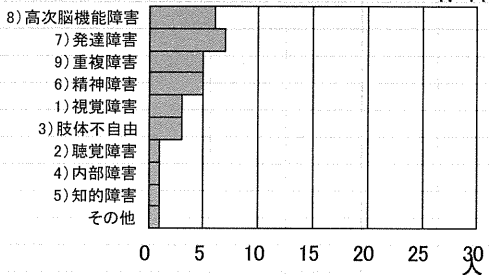
福祉



工学



国リハとの関係あり



国リハとの関係なし

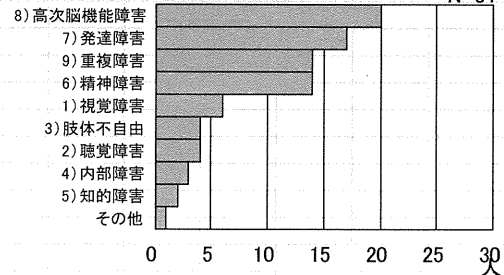
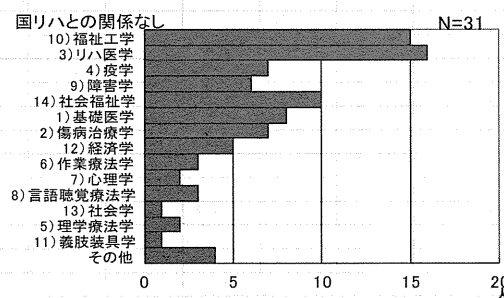
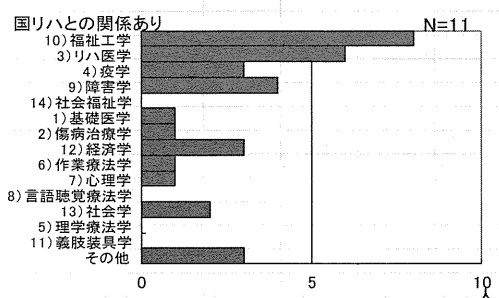
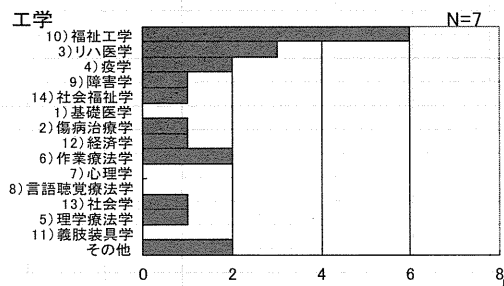
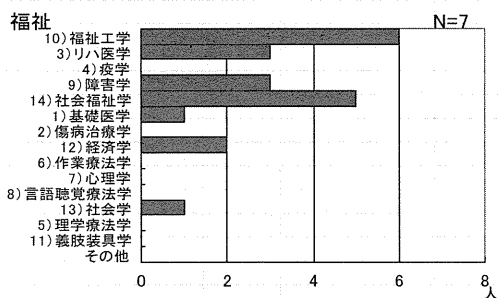
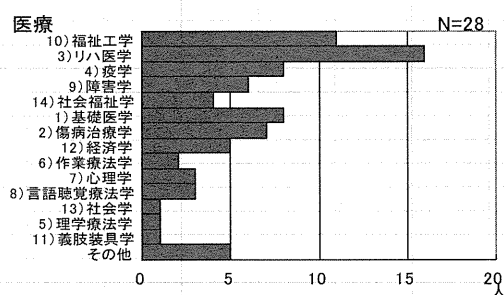
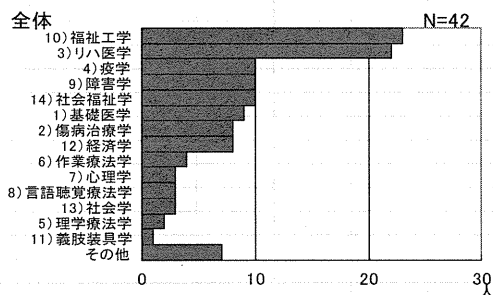


表8 重点的に取り組むべき研究分野（複数回答3件まで）

研究分野	全体	医療	福祉	工学	国リハとの関係あり	国リハとの関係なし
	(N=42)	(N=28)	(N=7)	(N=7)	(N=11)	(N=31)
10)福祉工学	23 (54.8)	11 (39.3)	6 (85.7)	6 (85.7)	8 (72.7)	15 (48.4)
3)リハ医学	22 (52.4)	16 (57.1)	3 (42.9)	3 (42.9)	6 (54.5)	16 (51.6)
14)社会福祉学	10 (23.8)	4 (14.3)	5 (71.4)	1 (14.3)	0 (0.0)	10 (32.3)
9)障害学	10 (23.8)	6 (21.4)	3 (42.9)	1 (14.3)	4 (36.4)	6 (19.4)
4)疫学	10 (23.8)	8 (28.6)	0 (0.0)	2 (28.6)	3 (27.3)	7 (22.6)
1)基礎医学	9 (21.4)	8 (28.6)	1 (14.3)	0 (0.0)	1 (9.1)	8 (25.8)
12)経済学	8 (19.0)	5 (17.9)	2 (28.6)	1 (14.3)	3 (27.3)	5 (16.1)
2)傷病治療学	8 (19.0)	7 (25.0)	0 (0.0)	1 (14.3)	1 (9.1)	7 (22.6)
6)作業療法学	4 (9.5)	2 (7.1)	0 (0.0)	2 (28.6)	1 (9.1)	3 (9.7)
13)社会学	3 (7.1)	1 (3.6)	1 (14.3)	1 (14.3)	2 (18.2)	1 (3.2)
8)言語聴覚療法学	3 (7.1)	3 (10.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (9.7)
7)心理学	3 (7.1)	3 (10.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (9.1)	2 (6.5)
5)理学療法学	2 (4.8)	1 (3.6)	0 (0.0)	1 (14.3)	0 (0.0)	2 (6.5)
11)義肢装具学	1 (2.4)	1 (3.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (3.2)
その他	7 (16.7)	5 (17.9)	0 (0.0)	2 (28.6)	3 (27.3)	4 (12.9)
無回答	3 (7.1)	3 (10.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (9.7)
合計	126 (300.0)	84 (300.0)	21 (300.0)	21 (300.0)	33 (300.0)	93 (300.0)

その他の内容

- ・視覚リハ・ロービジョンケア
- ・聴覚障害
- ・人口の少子・高齢化とそれに伴う諸問題
- ・福祉工学を中心に上記各分野を統合した新しい臨床応用の研究分野
- ・障害福祉情報学
- ・発達障害学
- ・地域づくり、街づくりに関する研究



II. 専門の領域・分野における研究

表9 今後数年間に重点的に取り組むべき障害種別

障害種別	全体 (N=40)	医療 (N=26)	福祉 (N=7)	工学 (N=7)	国リハとの 関係あり (N=1)	国リハとの 関係なし (N=30)
6)精神障害	9 (22.5)	5 (23.1)	2 (28.6)	1 (14.3)	2 (20.0)	7 (23.3)
7)発達障害	7 (17.5)	5 (19.2)	1 (14.3)	1 (14.3)	2 (20.0)	5 (16.7)
8)重複障害	5 (12.5)	2 (7.7)	2 (28.6)	1 (14.3)	2 (20.0)	3 (10.0)
8)高次脳機能障害	5 (12.5)	2 (7.7)	1 (14.3)	2 (28.6)	0 (0.0)	5 (16.7)
1)視覚障害	5 (12.5)	3 (11.5)	1 (14.3)	1 (14.3)	2 (20.0)	3 (10.0)
2)聴覚障害	2 (5.0)	2 (7.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (6.7)
3)肢体不自由	4 (10.0)	3 (11.5)	0 (0.0)	1 (14.3)	2 (20.0)	2 (6.7)
4)内部障害	2 (5.0)	2 (7.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (6.7)
5)知的障害	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
その他	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
無回答	1 (2.5)	1 (3.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (3.3)
合計	40 (100.0)	26 (100.0)	7 (100.0)	7 (100.0)	10 (100.0)	30 (100.0)

無効回答者2名：3件選択者

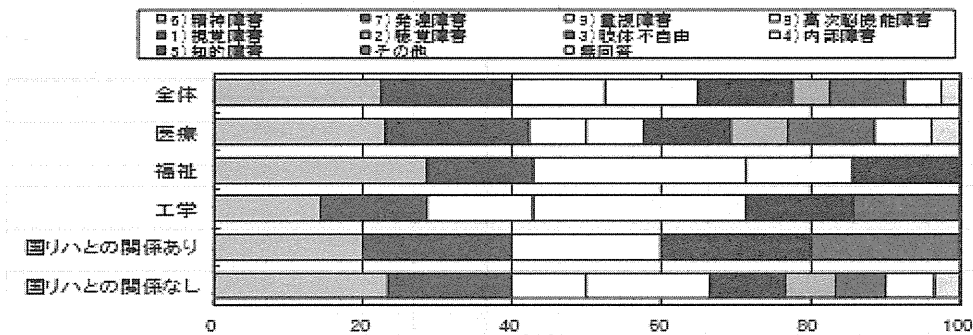


表10 専門領域で、今後数年間に優先的に取り組むべき研究領域

研究領域	全体 (N=42)	医療 (N=28)	福祉 (N=7)	工学 (N=7)	国リハとの 関係あり (N=11)	国リハとの 関係なし (N=31)
3)医療福祉連携領域	14 (33.3)	9 (32.1)	3 (42.9)	2 (28.6)	2 (18.2)	12 (38.7)
1)医学領域	11 (26.2)	10 (35.7)	0 (0.0)	1 (14.3)	2 (18.2)	9 (29.0)
2)障害福祉領域	5 (11.9)	4 (14.3)	1 (14.3)	0 (0.0)	3 (27.3)	2 (6.5)
5)政策研究	4 (9.5)	1 (3.6)	2 (28.6)	1 (14.3)	2 (18.2)	2 (6.5)
4)社会学・疫学	2 (4.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (28.6)	0 (0.0)	2 (6.5)
その他	5 (11.9)	3 (10.7)	1 (14.3)	1 (14.3)	2 (18.2)	3 (9.7)
無回答	1 (2.4)	1 (3.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (3.2)
合計	42 (100.0)	28 (100.0)	7 (100.0)	7 (100.0)	11 (100.0)	31 (100.0)

その他の内容

- ・人口の少子・高齢化とそれに伴う諸問題
- ・障害者の就労支援
- ・上記領域を統合したQOL向上を目指した新領域
- ・発達障害領域
- ・医療福祉の連携と地域づくりのつながりに関すること。社会の理解を高めること。

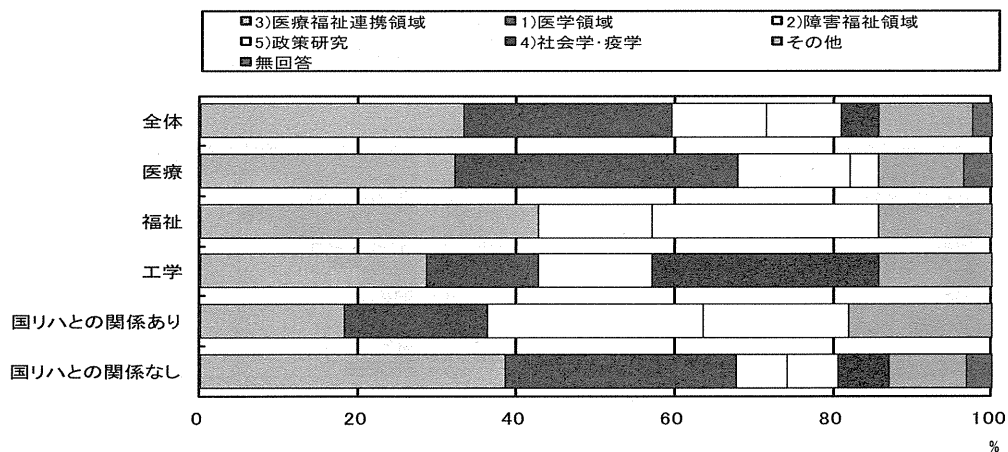


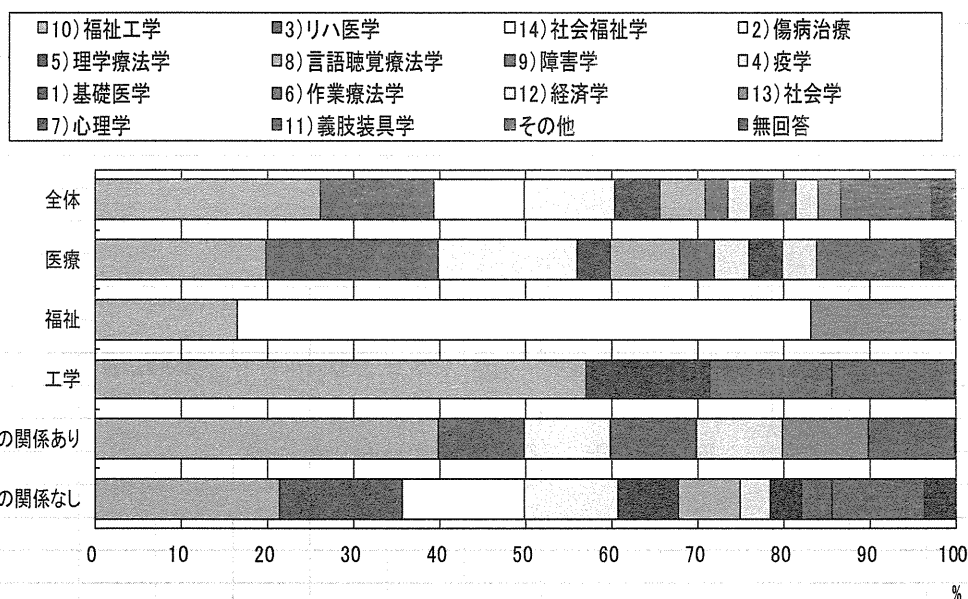
表11 今後数年間に、重点的に取り組むべき研究分野

研究分野	全体 (N=38)	医療 (N=25)	福祉 (N=6)	工学 (N=7)	国リハとの 関係あり (N=10)	国リハとの 関係なし (N=28)
10)福祉工学	10 (26.3)	5 (20.0)	1 (16.7)	4 (57.1)	4 (40.0)	6 (21.4)
3)リハ医学	5 (13.2)	5 (20.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (10.0)	4 (14.3)
14)社会福祉学	4 (10.5)	0 (0.0)	4 (66.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	4 (14.3)
2)傷病治療	4 (10.5)	4 (16.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (10.0)	3 (10.7)
5)理学療法学	2 (5.3)	1 (4.0)	0 (0.0)	1 (14.3)	0 (0.0)	2 (7.1)
8)言語聴覚療法学	2 (5.3)	2 (8.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (7.1)
9)障害学	1 (2.6)	1 (4.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (10.0)	0 (0.0)
4)疫学	1 (2.6)	1 (4.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (3.6)
1)基礎医学	1 (2.6)	1 (4.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (3.6)
6)作業療法学	1 (2.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (14.3)	0 (0.0)	1 (3.6)
12)経済学	1 (2.6)	1 (4.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (10.0)	0 (0.0)
13)社会学	1 (2.6)	0 (0.0)	1 (16.7)	0 (0.0)	1 (10.0)	0 (0.0)
7)心理学	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
11)義肢装具学	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
その他	4 (10.5)	3 (12.0)	0 (0.0)	1 (14.3)	1 (10.0)	3 (10.7)
無回答	1 (2.6)	1 (4.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (3.6)
合計	38 (100.0)	25 (100.0)	6 (100.0)	7 (100.0)	10 (100.0)	28 (100.0)

無効回答者4名：3件選択者

その他の内容

- ・視覚リハ・ロービジョンケア
- ・福祉工学を中心に上記各分野を統合した新しい臨床応用の研究分野
- ・発達障害学
- ・脳科学研究



厚生労働科学研究費補助金（厚生労働科学特別研究事業）
「障害関係分野における今後の研究の方向性に関する研究」
平成 23 年 総括・分担研究報告書

発行者 岩谷 力（研究代表者：国立障害者リハビリテーションセンター）
〒359-8555 埼玉県所沢市並木 4-1

